

レオナード・イソー

Leonrd ESAU

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1968年6月3日

出生地：カナダ

【プロフィール】NCAAのセントクラウド州立大学時代の1988NHLエントリードラフトで、トロント・メープルリーフスから5巡目（全体で86位）指名を受ける。AHLでのプレーを経て、1991-1992シーズンから1994-1995シーズンまでNHLでプレーした（AHLでのプレーもあり）。NHLではトロント、ケベック・ノルディックス、カルガリー・フレイムス、エドモントン・オイラーズでプレーし、NHL通算27試合10アシスト10ポイントをマークした。カナダ代表にも選出され1995世界選手権に出場、7試合1アシスト1ポイントをマークし、銅メダルを獲得している。1995-1996シーズンからはIHLでプレーした後、西武鉄道入りした。西武退団後は、IHLのシンシナティ・サイクロンズなどでプレーした。

【レビュー】オフェンシブDFで、シュートも良く攻めも上手かったです。イメージ的には、（トム・）カーバースのレベルではないけど、やってくれると思っていました。

残念なことに、開幕して間もなく、数試合に出場した時でした。東伏見の合宿所前でバスケットボールをやっていた時に足首を故障してしまい、その後は治療に専念。最後に復帰はしましたが、ケガもあり、今一つでした。帰国の際、新宿駅まで送っていきましたが、寂しそうにしていた姿が印象に残っています。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1998-1999	第33回	西武鉄道	3位	6	8回総当たり	2位	21	6	11	17	15 / 46	セミファイナル敗退	3	0	1	1	0 / 0
						計	21	6	11	17	15 / 46	計	3	0	1	1	0 / 0

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

ジェフ・ウエルズ

Jeff WELLS

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1970年3月19日

出生地：カナダ

【プロフィール】NCAAのボウリンググリーン州立大学でアシストの多いDFとして4年間プレー。4年時にはキャプテンも務めた。大学卒業後、AHLやECHL、IHLで6シーズンプレーした後、西武鉄道入り。西武退団後は、ECHLやAHL、CHLでプレーした。現役引退後は、ジュニアチームのアシスタントコーチなどを務めた。

【レビュー】セットを組むCFの樺山にとって、自分のプレーにあったDFとしてウエルズを連れてきました。彼に対して相手があまり怖さを感じず、相手にプレッシャーをかけられるDFではなかったです。強さはもう一つでしたが、柔らかさがあるテクニシャンでした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ							プレーオフ						
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
2000-2001	第35回	西武鉄道	5位	6	8回総当たり	5位	40	8	23	31	/	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	40	8	23	31	0 / 0	計	-	-	-	-	- / -

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第35回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

第1版：2026年3月15日・記

トム・カーバース

Tom KURVERS

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1962年9月14日

出生地：アメリカ

【プロフィール】NCAAのミネソタ大学ダルース校で1980-1981シーズンから4年間プレー。1981NHLエントリードラフトでモントリオール・カナディアンズから7巡目（全体で145位）指名を受ける。1983-1984シーズンにはホビー・ベイカー賞（NCAAで最も優れた選手に贈られる賞）を受賞。卒業後の1984-1985シーズンにNHLデビュー。1994-1995シーズンまでの11シーズンに渡り、モントリオール、バッファロー・セイバーズ、ニュージャージー・デビルス、トロント・メープルリーフス、バンクーバー・カナックス、ニューヨーク・アイランダーズ、アナハイム・マイティダックスでプレーした。1985-1986シーズンのモントリオールでは、スタンレーカップを獲得している。NHL通算659試合93ゴール328アシスト421ポイントをマーク。代表歴も1982世界ジュニアU20選手権にアメリカジュニア代表（U20）として出場、7試合3ゴール3アシスト6ポイントをマークした。世界選手権にも1987年と1989年に出場し、20試合5ゴール3アシスト8ポイントをマークしている。西武でのプレーを最後に現役引退。その後、NHLの複数のチームで、スカウトやアシスタントGM、シニアアドバイザーに就いた。またAHLのチームのGMなども務めた。2021年6月、癌のため亡くなった。

【レビュー】スタンレーカップリングを持っているのは知っていましたが、プレーヤーとしては実はよく知りませんでした。最初の頃の練習でも、すごさはあまり見せませんでした。しかし、試合になるとプレーはすごかったです。シュートもパスも良かったです。カーバースは自分の前にスペースをつくりたいので、ブルーラインの外に足を置いていました。一步そのスペースに踏み込んで行く感覚で、その分、リンクを広く使っていました。

バリバリのNHLプレーヤーでしたが、わがままは言わず、チームに馴染んでいました。練習もきっちりやり、紳士的でオーラを出していました。アメリカ人同士でしたから、大川は彼のことをよく知っていて、最初、一緒に組んでビビっているほどでした（笑）。

【日本リーグアワード】ベスト6：第30回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ										プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)			
1995-1996	第30回	西武鉄道	1位	6	前後期各4回総当たり	2位※	40	18	34	52	41 /	優勝	2	1	2	3	4 /	29	
						計	40	18	34	52	41 /	0	計	2	1	2	3	4 /	29

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第30回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（分）は未掲載（調査中）

ケリー・グロワ

kelly GLOWA

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1963年8月11日

出生地：カナダ

【プロフィール】1980-1981シーズンから3シーズン、WHLでプレーした後、メーンのプレーの場をヨーロッパへ移す。スイスリーグ（NLA、NLB）のシエールで6シーズンに渡りプレーしたのを始め、同リーグのマルティニー、さらにオーストリアなどでプレーした。NLBでは、最多得点や最多アシスト、最多ポイントなど複数回にわたりタイトルホルダーにもなった。西武鉄道退団後は、イギリスのBISL、スロベニア（オリンピア・リュブリャナ）、スイス（NLB）、そしてカナダでプレーした。スロベニア時代にはスロベニア選手権を制覇している。

【レビュー】グロワとのファーストコンタクトは、カナダ・ウイニペグで夏合宿を行った時です。対戦相手に小さいが速くて上手い選手がいました。ヨーロッパでプレーをしているということで声をかけました。FWのため、（クリス・）ブライトとポジションはダブルですが、ブライトはDFもできるということで獲得の判断になったと思います。ポイントに絡む選手でした。

【日本リーグアワード】ベスト6：第32回／ポイント王：第32回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1997-1998	第32回	西武鉄道	4位	6	8回総当たり	4位	40	32	42	72	32 / 64	セミファイナル敗退	3	1	4	5	3 / 6
						計	40	32	42	72	32 / 64	計	3	1	4	5	3 / 6

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

トム・ペダーソン

Tom PEDERSON

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1970年1月14日

出生地：アメリカ

【プロフィール】1988-1989シーズンからNCAAのミネソタ大学でプレー。1989NHLエントリードラフトでミネソタ・ノーススターズから11巡目（全体で217位）指名を受ける。ミネソタ大在学中の1988-1989シーズンはアメリカジュニア代表（U20）として、世界ジュニアU20選手権に出場。1990-1991シーズンにはアメリカ代表として1991世界選手権にも出場している。世界選手権出場はNHL時代（サンノゼ・シャークス）でも1回経験している。世界ジュニアU20選手権では7試合2ゴール8アシスト10ポイントをマーク。世界選手権は17試合1ゴール4アシスト5ポイントをマークし、2回目の出場となった1996年大会では銅メダルを獲得している。ミネソタ大卒業後、西武鉄道入りする前シーズン（1995-1996）まではNHLのサンノゼ・シャークスやIHLのカンザスシティ・ブレイズでプレーした。西武退団後、NHLのトロント・メープルリーフスやIHL、ドイツリーグなどでプレーした。NHL通算240試合20ゴール49アシスト69ポイントをマークした。

【レビュー】あまり守りはやりたがらない、ワントンボ早く攻めに入るオフェンス一辺倒のDFでした。そのプレースタイルから、試合中にもかかわらず、芋生と言い争いをしていました。芋生との言い争いは味方ながら笑えましたよ。

FWをやりたいぐらいでしたから、良いシュートは持っていました。王子戦でGK平野（克典）の肩口を抜いたシュートは、「さすがNHLシュート」とグレン・ウイリアムソンコーチが絶賛するほどでした。NHLではオフェンスDFのパワープレー要員のだったと思いますが、その片鱗としてシュートはもちろん、パスも上手かったです。

【日本リーグアワード】ベスト6：第31回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1996-1997	第31回	西武鉄道	1位	6	6回総当たり	2位	29	10	28	38	24 / 77	優勝	4	2	4	6	3 / 6	
						計	29	10	28	38	24 / 77		計	4	2	4	6	3 / 6

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

ダン・ラトゥーシュニー

Dan RATUSHNY

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1970年10月29日

出生地：カナダ

【プロフィール】1988-1989シーズンからNCAAのコーネル大学でプレー。1989NHLエントリードラフトでウイニペグ・ジェットズから2巡目（全体で25位）指名を受ける。1989-1990シーズンにはカナダジュニア代表（U20）の一員として1990世界ジュニアU20選手権に出場。金メダルを獲得するとともに7試合2ゴール2アシスト4ポイントをマークした。さらに、カナダ代表として1992アルベールビルオリンピックにも出場。8試合（0ポイント）に出場して銀メダルを獲得した。1992-1993シーズンにはバンクーバー・カナックスからNHLデビューを飾った。NHLでは1試合（1アシスト1ポイント）のみの出場で、西武鉄道入りするまでIHLやAHLが主戦場であった。西武退団後はフィンランドのトップリーグのSMリーグのHPKやイギリスリーグ（BISL、BNL）、スウェーデンのチームなどでプレーした。現役引退後はオーストリア代表監督として、2015世界選手権（トップディビジョン）と2016世界選手権ディビジョン1の指揮を振った。代表チーム以外でもスイスリーグ（NLA、NLB）やドイツ、オーストリア、ノルウェー、スウェーデンのクラブチームなどの監督やコーチなどを務めた。

【レビュー】アグレッシブに相手へ向かって行きますから、相手のFWにしてみたらプレッシャーをかけられるので、嫌なDFだったと思います。DFゾーンでもゴール前にいるのではなく、コーナーなどへアグレッシブに動いて行って、素早く戻っていました。また、力がありパワーホッケーをやります。チームが優勝できたのはラトゥーシュニーの存在も大きかったと思います。アグレッシブに関する逸話があります。練習で彼が周りを見ていなかったため私とぶつかって、私は肋骨を骨折する羽目になりました（笑）。

ちなみに彼は肉を食べません。おいしい肉なしディナーをふるまったこともあります。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ						
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1999-2000	第34回	西武鉄道	1位	6	6回総当たり	2位	27	2	11	13	/	優勝	9	1	3	4	6 / 12	
						計	27	2	11	13	0 / 0		計	9	1	3	4	6 / 12

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第34回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）